

# 三重県へき地医療通信

第5号

発行元

三重県

へき地医療支援機構

(健康福祉部医療政策室)

電話 059-224-3370

発行日

平成17年4月1日

平成17年度活動予定

6月およびH18年2月

へき地医療支援連絡調整会議

8月18日(木) 19日(金) 仮

へき地医療体験実習

対象自治医科大学生、県医師修

学資金貸与者およびへき地医療

に興味のある医学生

8月27日(土) 28日(日)

へき地医療研修会

対象へき地医療関係者および興

味ある学生 場所:紀南病院(宿

泊は紀和町内を予定)

11月予定

東海へき地医療研究会(愛知県)

東海三県へき地医療研修会開催(津市・3月12日)  
 愛知・岐阜・三重の三県のへき地医療支援機構が合同で研修会  
 を津市で開催しました。特別講演では自治医科大学一期卒業生・  
 神島診療所所長の奥野正孝先生が「へき地医療の過去・現在・未  
 来」をテーマに講演され、参加者は興味深く聞き入りました。

愛知県で東海へき地医療研究会 今秋開催決定!  
 今回の東海三県研修会をバージョンアップ

今回の合同開催は初めての試みで、参  
 加者は東海三県のほか奈良県からの参  
 加者も加え、医師・看護師・事務・医学  
 生ら26名に参加いただきました。ま  
 ず、各県のへき地医療支援機構の取り組  
 みが報告され、各県での研修会の内容や  
 へき地医療臨床研修システムについて  
 (愛知県)など、今後の活動に対して大  
 いに参考となる報告会となりました。奥  
 野正孝先生の特別講演は参加者から大  
 変好評で、参加者による研修会全体の評  
 価も高く、今後の合同研修会に期待が高  
 まります。

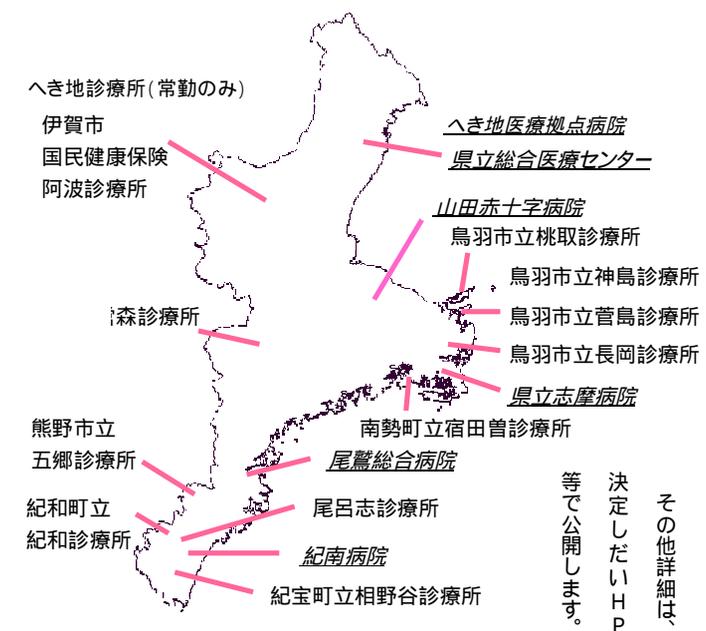


【会場】三重県津市米町・JAみえビル5階大会議室

参加者アンケートより一部抜粋  
 ・奥野先生(下写真)の話をも  
 興味深く聞いた。我々へき地  
 にいる者にとっては色々と参  
 考になった。(事務)・もつ少  
 し参加者の色々な意見が聞け  
 るセッションがあればもっと良かった。(医師)・  
 今後このような研修会に参加していきたい。医  
 師が来たいと思つような地域にしていきたい。  
 (看護師)自治体・住民も加えてシンポジウムを  
 開いてはどうか。(医師)



【担当より】貴重でありありがとうございます。  
 伊賀市 国民健康保険 阿波診療所  
 山田赤十字病院  
 鳥羽市立桃取診療所  
 鳥羽市立神島診療所  
 鳥羽市立菅島診療所  
 鳥羽市立長岡診療所  
 県立志摩病院  
 南勢町立宿田曾診療所  
 尾鷲総合病院  
 尾呂志診療所  
 紀南病院  
 紀宝町立相野谷診療所



## 引越しました 専任担当官県庁へ

平成15年度の支援機構設置以来、志摩病院に駐在してまいりましたへき地医療  
 専任担当官山添は、平成17年3月31日をもちまして駐在解除となりました。  
 これからは県庁にて支援機構の調整・指導にあたります。引き続き代診調整は、  
 代診支援を実際に行っている県立志摩病院(へき地医療拠点病院)が担当します。

## 平成16年度代診実績 派遣率100%達成!

下表は、平成16年4月1日から平成17年  
 3月31日までの支援実績です。特別休暇に伴  
 う臨時代診を含め、依頼に対し100%へき地  
 医療拠点病院より派遣いただきました。ありが  
 とうございました。

診療所名	依頼による代診派遣					定期 派遣 日数	紀南 病院	計
	派遣 依頼	志摩 病院	総合 医療	尾鷲 総合	山田 日赤			
鳥羽市立 長岡診療所	12	12	0	0	0	12	0	12
鳥羽市立 桃取診療所	8	7	0	0	1	8	0	8
紀和町立 紀和診療所	6	1	0	5	0	6	46	52
鳥羽市立 菅島診療所	4	4	0	0	0	4	0	4
鳥羽市立 神島診療所	9	7	2	0	0	9	0	9
計	39	31	2	5	1	39	46	85

紀南病院は紀和診療所へ定期支援

## 地域の取り組み 紀南病院の救急外来支援

地域において医療の確保に対する独自の取り  
 組みが始まっています。紀南地域では、紀南病  
 院の内科医師減少により、内科系救急患者の受  
 け入れが困難になっています。平成17年1月  
 より、紀南医師会の医師らの支援を受け、病院  
 の救急外来で1次救急患者の診療を担当する試  
 みが始まっています。今後、このような取り  
 組みが各地域でも始まることを期待します。

## 三重県のへき地医療現況図

平成17年3月末現在、三重県内にへき地診  
 療所は22カ所あり、うち12カ所が常勤です。  
 へき地拠点病院は県立志摩病院、紀南病院、  
 県立総合医療センター、尾鷲総合病院、山田赤  
 十字病院(指定順)の5病院となっています。

## へき地医療先進地視察研修 岐阜県・和良に行ってきました

平成16年11月4日より2日間、男性長寿  
 日本で「まめなかな和良21プラン」の作  
 成など、地域医療の先進地である岐阜県・郡  
 上市和良地域へ視察に行つて来りました。医療  
 関係者、行政関係者合わせて17名が参加し  
 ました。和良病院、介護老人保健施設、和良  
 保健福祉歯科総合施設の見学を行い、局長、  
 保健師の先生方からの講演を聞くことができ  
 大変実りのある視察研修となりました。岐阜  
 県郡上市和良地域  
 健康福祉局の皆様を  
 はじめ、遠方よりご  
 参加頂きました皆様  
 に御礼申し上げます。



## 三重県ではへき地に係る医師確保対策を行っています。

医師修学資金等貸与者募集中  
 平成16年度より三重県医師修学資金等  
 貸与制度を開始しています。医学生、大学院  
 生への修学資金、研修医への研修資金、医師  
 への研究資金貸与を行い、一定期間へき地の  
 医療機関に勤務することで返還を免除する  
 ものです。平成17年4月現在、4名の医学  
 生に貸与しておりますが、現役医師の利用  
 はありません。積極的に活用いただければ  
 と考えております。詳細は修学資金のホー  
 ムページをご覧ください。  
<http://www.pref.mie.jp/RCYS/syugaku/hsyujin.htm>

## 三重県医師ドクタープール制度の創設

自治医科大学や修学資金貸与制度の義務  
 年限終了医師をへき地医療の指導者として  
 定着を図るとともに、全国からUIJターン  
 による指導的医師を公募し、へき地の医  
 療機関に派遣する制度です。派遣2年後の  
 研修1年と派遣2年を1クールとし、最長3  
 クールをプール期間として考えています。こ  
 の期間中、県職員としての身分が保証され  
 平成17年度より若干名募集予定です。



【お礼】平成18年度からの国の第10  
 次へき地保健医療計画策定を控え実施  
 された、無医地区等調査、へき地保健  
 医療アンケート、へき地対策事業の現  
 況調に、年度末のお忙しいなかご協力い  
 ただきありがとうございました。